

安達太良山の上に広がる“ほんとの空”の色を作ろう
歓藍社「大玉村の小さな藍まつり」開催

- ・畑の藍染体験や藍染ファッションショーなど、大玉村玉井にて
- ・“道具の発見”と“協同作業”をテーマにした「大玉ゴロゴロ染め」を発表



歓藍社（かんらんしゃ）は、7月16日、17日に「大玉村の小さな藍まつり」を福島県安達郡大玉村玉井にある彦ハウスで開催いたしました。まつりのテーマは、「道具の発見」と「協同作業」で、藍作り、道具作り、場所作りなど様々な広がりを持ち始めた歓藍社の活動の、初お披露目の場となりました。

当日は、会場に隣接する畑から藍の葉の収穫し染めを行う「畑の藍染めワークショップ」や、アーティストの滞在制作によって完成した「大玉ゴロゴロ染めの道具の実演展示」、古民家の軒下を利用した「藍染めファッションショー」、ヨーロッパの藍染や水車小屋の様子を知る「ドキュメンタリー上映会」など、盛りだくさんの内容が執り行われました。

2日間の来場者は約120名で、大玉村や近隣地域、仙台や東京など様々な所から多くの方にご参加いただきました。参加者からは「大玉村で藍染めをやっていると噂を聞きつけて参加しました」や「様々な分野の人が繋がり、藍を中心に大きな輪が広がっていることを感じた」などの声が聞かれ、自宅で藍を育てるため、苗を持ち帰る参加者も多数見受けられました。

歓藍社ではこれからも、「今はまだないけれども近い未来の大玉村に当たり前のよう存在する地域生活の風景」を想像し、様々な運動を展開していきます。

■「大玉村の小さな藍まつり」概要

期日：2017年7月16（日）8:30-17:00、17日（月・祝）8:30-12:00

場所：彦ハウス（福島県安達郡大玉村玉井五里田166）、入場無料

テーマ：「道具の発見」と「協同作業」

企画：大玉ゴロゴロ染めの道具の実演展示、畑の藍染体験、藍染ファッションショー
ドキュメンタリー上映会、大家族の昼食、展示

主催：欽藍社

後援：大玉村、大玉村教育委員会、大玉村観光協会、ブルースカイおおたま

協力：（公財）下中記念財団、エンサイクロペディア・シネマグラフィカ 活用委員会

■当日の様子



「大玉ゴロゴロ染め」の道具実演★



「大玉ゴロゴロ染め」で染めた布。ファッションショーではマントとして登場



村の方たちもショーモデルとして登場



収穫した藍の葉をミキサーにかけ、染め液作り。思い思いの模様にも染めました



「水車小屋」ドキュメンタリー上映会★



昨年染めた布で作ったかばんの商品サンプルや、これまでの活動風景の展示



★マークの写真以外は撮影：竹内吉彦

■欽藍社とは

「大玉村で藍を育ててみよう」という呼びかけによって集まった、農業、建築、デザイン、服飾、工芸、生態学など様々な専門性を持ったメンバーからなる団体です。福島県大玉村内の休耕地で藍の栽培と染料づくり、藍染を行いながら、震災後の東北におけるものづくりと生活の創出を試みています。私たちの試みは、今はまだないけれども、近い未来の大玉村に当たり前のように存在する、地域生活の風景を想像することです。これに呼応し大玉村内外から協働いただける方が段々と増え始めています。

詳しい内容やこれまでの活動については、HPをご覧ください。<http://kanran-sha.net/>

【本件に関するお問い合わせ】

欽藍社（かんらんしゃ） info@kanran-sha.net <http://kanran-sha.net/>